

「食えない人々」

作 田坂哲郎

登場人物

田伏十色（たぶせというろ）

間借東（まがりあずま）

ジエイコブ・ホンダ

断食道場の、集会所。

たった今、大きなお腹の男が空腹に耐えかねて椅子にかぶりつき、必死になってひきはがそうとされた拳句、床に頭を打ち付けて気絶している。死んでいないことは、時折大きなびきを立てることからわかる。

その横で、肩で大きく息をしている田臥十色（たぶせというろ）。

そして、比較的平気な顔をしている、間借東（まがりあずま）。

パイプ椅子が倒れている。

間借 大丈夫？

十色 （息が荒く答えられない）

間借 ああうん、いや全然。そりゃそうだ。ね。

十色 この人……（大丈夫でしょうか）

十色、立ち上がろうとするが、力が入らず立てない。

十色 あ、あれ。

間借 ああー。

十色 え、立て（ない）、あれ、

間借 もう少し休んでいた方が。

十色 ええーでも、ここまで、三日で。

間借 いや、三日食べなきゃ。

間借、倒れている椅子を十色の近くに置く。

間借 どうぞ。

十色 あ、どうも。

間借 いえいえ。

十色 ……あでも、そっか。

間借 ん？

十色 いやこれ、かぶりついてたから。

間借 あー

十色 結構おしゃむしゃいつてましたよね。

間借 いつてましたね。

十色 はい。

間借 十色 (椅子を確認する)ん、まあ、見た感じ大丈夫みたいですけど。
あー…
間借 まあ確かに、ヤですよね。
十色 はあ……
間借 人の食べかけの椅子なんて
十色 食べかけの椅子、
間借 別の持ってきますよ。
十色 あ、いえ。だい、大丈夫です。

十色、頑張つて立ち上がろうとするのを、間借が手を差し出し手伝う。

十色 すいません。
間借 いえいえ。
十色 ……この人、大丈夫でしょうか。
間借 そのうち起きますよ。
十色 や、でも……結構派手に、いったじゃないですか。
間借 ああ。
十色 あたしも夢中だったんで。
間借 まあでも、畳ですし。
十色 そうですけど……
間借 起こします？
十色 あー
間借 起こします？ 声かけて。
十色 ……いや、
間借 そのうち起きますよ。
十色 ですよね。
間借 起こしちゃう方が、あれかもしれないし。
十色 ああ。
間借 ねえ。
十色 そうですね。
間借 美味しいものを食べてる夢を、見てるかもしれないし。
十色 いいなー。
間借 (笑う)
十色 あ。(照れて)恥ずかし。
間借 いやまあ、そうですね。
十色 ……(椅子に目が行く)おいしそうに見えたんですかね。
間借 見えたんでしょうね。
十色 でもあんな風になっちゃいます？
間借 ねえ。
十色 あんな……ガオーッて。

間借

ケモノみたいでしたね。

十色

はい。

間借

なんか聞いた話だと、ここ(クッション)のところが、美味しそうに見えるみたい。へー。

十色

間借

不思議ですよ。

十色

まあでも、椅子の、いわば可食部ですよ。

間借

食べられませんよ。

十色

わかってます。

間借

はい。

十色

でもここは、(金属部分)どうやっても食べられないじゃないですか。

間借

ええ。

十色

つまり、捨てる部分です。

間借

ああ。

十色

それで考えたら、ほら。柔らかいし。

間借

でも食べられませんよ。

十色

え？

間借

不可食部

十色

……ああ！

間借

ね。

十色

いまちょっと、やばかったですね。

間借

気づけて良かった。

十色

(男を見て)あたしも、あんなっちゃうんでしょうか。

間借

いや……、大丈夫ですよ。あと一日ですし。

十色

あと一日……

間。

十色

なんか、食事しないってあれですよ。時間が全然立たない、ですね。

間借

そうですねー。

十色

それがきつくて。

間借

やっぱ食事って、エンタメなんですよ。

十色

あー

間借

なんかこういう、断食道場も色々あって、なんかいろいろ、ヨガとか、写経とか、

十色

あー、なんか、暇つぶしというか、

間借

気を紛らわすためのね、なんか、あるみたいですけど

十色

はいはい。

間借

ここはまあ、あんまりないですもんねー

十色

ああ

間借

まあ、値段が安いんであれですけど。

十色

え、ここ安いですか？

間借 十色 いや、比較的リーズナブルな方じゃないですか？
十色 ええー
間借 やだっ、高いところは二泊三日で十万とか。
十色 十万！
間借 はい。
十色 美味しい料理が出るわけでもないのに。
間借 (笑う)
十色 何代なんですかね。
間借 環境じゃないですか。
十色 まあ、環境はいいですけど。

間。

十色 回復食って何出るんですかね。
間借 ああ。
十色 もうそれだけが楽しみで。
間借 でも、おかゆとかですよ。
十色 おかゆかー。
間借 ほんとにただのおかゆ。もう梅干しとかもない、ただのおかゆ。
十色 え、きつ。
間借 でもこのおかゆが、めっちゃうまいんですよ。
十色 お腹すいてるから。
間借 米の味が、こう、体に染みていく、みたいな……
十色 ああー……(腕時計を見て)まだ15時か……

間。

十色 あたし、実はライターでして。
間借 はあ。
十色 雑誌の取材できてるんですよ。
間借 潜入取材。
十色 いやそんなあれじゃないですけど、まあ、ルポってやつです。
間借 大変ですね。
十色 もう、なんであたしがって感じなんですよねー。
間借 いいじゃないですか、経費なんでしょ？
十色 まあそうですね……。あたし、ご飯食べるのめっちゃ好きなんです。
間借 はい。
十色 ここ、下にコンビニあるじゃないですか。
間借 ありますね。
十色 直前に食べおさめと思って、パンを4,5個。

間借 あらあら。
十色 いやバレないかなと思って。
間借 潜入取材なのに。
十色 いやこれ内緒ですよ。
間借 はは。
十色 1個くらい残しとけばよかった。あのパン。
間借 全部食べたんですか。
十色 いやだって、持ち物検査とかあると思って。
間借 そこまで厳しくないですよ。

男、むっくり起き上がる。
二人、驚いて声も出ない。
男、のっそりと椅子に座る。

間借 え。
男 ……
間借 え、大丈夫ですか。
男 ……なに？
間借 いや……
十色 あの、頭、
男 （急な大声）ええ！？
十色 あいや、その、
男 ごめん耳が遠いんだわ。
間借 あ……
男 大きな声で話せるかな。
間借 ……
十色 あの、頭、大丈夫ですか？
男 あ？
十色 あ、た、ま！
男 ああ？
十色 あ、た、ま！ だ、い、じょ、う、ぶ、で、す、か！
男 ……
間借 あの、痛くないですかって意味です。
十色 ああっ！ そうです！
男 ああ……
十色 すいません。
男 ちょっと痛い。
間借 ああ……
男 なんで？
間借 え？

男 なんて痛いんだろうな？
十色 あーあのー……
間借 いや、転んでたんで。
男 あ？
間借 畳に足をすべらせて、転んでました！
男 ああ。
間借 だから、大丈夫かなって。
男 おお。……ありがと。
間借 いえ。
男 この辺に、鳥いなかった？
間借 （十色を見る）
十色 （首を横に振る）
間借 いないと思いますけど。
男 そっかあ。
間借 え、どんな鳥ですか？
男 んー……わからん！
間借 ああ。
男 鳥を追いかけてた気がするんだよなあ。

間。

間借 雑誌って。
十色 はい。
間借 なんていう、雑誌？
十色 あーあのー……
間借 え、言えないような雑誌？
十色 ああいえ、マナビーって知ってます？
間借 おお
十色 はい。あ、名刺。

十色、名刺を取り出し、間借に渡す。

間借 え、すみません。
十色 麒麟舎の、田臥十色です。
間借 あー、すいません。あの、ちょっとカバン（が男子部屋にあるので名刺が手元にない）、
十色 ああいえ全然。
間借 間借と言います。
十色 まがりさん。
間借 あの、部屋を間借りする、の間借です。
十色 ああ。

間借 十色って珍しいですね。十人十色の。
十色 もうまさに。あの、父が画家で。
間借 へえー
十色 もういつべんで覚えてもらえるんで、
間借 でしょうね。

間。

男 ねえちゃん。

十色 はいっ。

男 俺にも名刺くれんか。

十色 あ、はい。ぜひ。

男 (もらって)麒麟舎。

十色 はい。

男 麒麟舎って言ったらあれだよな？ あのー、競馬ナウ。だっけ？

……

男 あれ、違ったか？

十色 競馬は、やってないと思いますけど。

男 えー？ だって、麒麟って、馬だろ？

十色 (困って間借を見る)

間借 ま、伝説上の生き物ですから。

男 ええ？

間借 (声を張る)伝説上の生き物ですから！

男 馬？

間借 いや、麒麟ですよ。

男 ああ、そうかね。

間借 はい。

男 おたく、頭いいね。

間借 (いらっとする)

男 (名刺を)ありがとね。

十色 あ、いえ……

間借 あの、お名前なんていうんです？

男 名前？

間借 いや、名刺もらってるんですから。名前ぐらい言ったらどうです。

男 ああー。ジェイコブ。

間借 ジェイコブ？

男 ジェイコブ・ホンダ。

間借 ジェイコブ・ホンダ……

十色 あ、外国の方なんですか？

ジェイコブ いや、日本人よ。

十色

え、でも、

ジェイコブ

帰国子女ってとこかな！

間借・十色

……へえー

ジェイコブ

おたくは。

間借

え。

ジェイコブ

名前名前。

間借

……間借です。

ジェイコブ

マカリ。

間借

はい。

ジェイコブ

マカリって、あれ？ あのー、ほら、

間借

……

ジェイコブ

映画のさ、チャンバラの、ツブ小松が相棒役で、え、知らない？

間借

いや……

ジェイコブ

ほらほらほら、「闇にうごめく悪党どもに……なんとかかんとかふなな……

ジェイコブ、必死に映画の主人公を思い出そうとする。

しかし、口上のほとんどの部分を音だけで覚えてる。

ジェイコブ

なにがなんちゃら成敗いたす。拙者、マカリ……マカリ……拙者、マカリ……兄ちゃん

知らない？

間借

知りません。

ジェイコブ

ねえちゃんは？

十色

さあ……

ジェイコブ

そうかー。まあ、若い人は知らんかー。まあとにかくそのマカリ？

間借

いやだから知らないのです。

ジェイコブ

はあ。

間借

あの、部屋を間借りする、の間借です。

ジェイコブ

へー。珍しい。

間借

はあ。

ジェイコブ

下の名前は？

間借

……あずま。

ジェイコブ

あずま？

間借

東と書いて。

ジェイコブ

へー！

間借

……

ジェイコブ

ジェイコブ。

間借

さっき、あの。

ジェイコブ

ジェイコブ・ホンダ。

間借

はい。

ジェイコブ

（思いつき顔や額の汗を手のひらで拭き）よろしく。（握手を求める）

間借、迷いに迷って結局握手に応じる。

ジェイコブ
まーしかし、大変でさーねー！

間借
……

ジェイコブ
断食なんですよ？

間借
はい。

ジェイコブ
食べたくても食べられない人もたくさんいるのに。

間借
……

ジェイコブ
ねえ。

間借
いやそれ、あなたも同じじゃないんですか。

ジェイコブ
え？

間借
あなたも。ここにきてるんだから。

ジェイコブ
いや、俺は別に……

間借
なんですか。

ジェイコブ
……

間借
（ほらみる、と言った気持ち）

十色
魔狩、妖太郎じゃないですか？

間借
なに？

ジェイコブ
あ！ それだ！

十色
（検索したら）出てきました。

館内放送が流れる。

「このあと、15時半より、健康セミナーを行います。参加希望の方は、一階、講堂までお集まりください。このあと、15時より、健康セミナーを行います。参加希望の方は、一階講堂までお集まりください。」

繰り返し部分はもう聞いていない。

間借
なに、映画？

十色
なんか昔の。怪奇アクションって書いてますね。

ジェイコブ
拙者、魔狩妖太郎と申す！

十色
魔物を狩る、で魔狩ですね。

間借
かっこいいな。

ジェイコブ
いやー。ありがと。すっきりしたわー

間。

間借
今の放送。

十色
はい。

間借

行かないんですか？

十色

いやあ……

間借

取材なら行かないと。

十色

いや……ま、そうなんですけど……

間借

……

十色

間借さんは、行かれます……？

間借

あー、まあ、いや……あ、でも、十色さんが、あの、一人で行くのあれなら、

十色

いやそんな、

間借

全然別に

十色

……行くべきですよね……

間借

そりや、ねえ。

十色

もうさっきからずっとお腹すいてて。

間借

はい。

十色

どのくらいあるんですか。

間借

……ああ、一時間くらいじゃないですか。

十色

ああ……

間借

でもお仕事ですし……

十色

あたし、なんかセミナーみたいな名前のやつ無理なんですよねー

間借

……はあ

十色

(むかついてる)なんかこう、意識高い人たちが？ 集まってるじゃないですか？

間借

まあ

十色

自分の、ライフステージを？ アップグレードしたい、人たちが？

間借

言い方。

十色

あたしほんとそういうの無理っていうか、低いんですよ意識。

間借

でも、「マナビー」で書いてるんですよ？

十色

だからそれがほんとになんできて感じてですよね。

間借

ていうか、麒麟舎って時点ですごいから。

十色

いやいや……これはほんとにしょうみな話、コネコネのコネです。

間借

あ……へえ

十色

ほんとに間借さんは行きたいんじゃないですか？

間借

え、いや、

十色

意識高いじゃないですか。なんか断食も詳しいし。こゝもはじめてじゃないんじゃないですか？

間借

いや、まあ、そうだけど。

十色

はあ……

間借

いやでも、意識高いの悪いことじゃないから

十色

そうですけど！

間借

なに。

十色

あれですか。間借さんも、ツイッターに、ライフハック本とマックブックエアースタバのカッ

プが写りこんだ写真をアップして、着弾とかつぶやくんですか。

間借 それ、具体的に誰の事言ってるの？
十色 ……お腹すいた……

十色、ふさぎ込む。間借も、何も言えないでいる。
突然、すべてをぶち破るように、ジェイコブがポケットからピザポテト的なお菓
子を出して食べ始める。

間借 ……ちよつとちよつと、
ジェイコブ ん？
間借 いや……なにしてんですか。
ジェイコブ いやなにして……
間借 や、ええ？
ジェイコブ うん？
間借 断食道場！
ジェイコブ ……（食べ続ける）
間借 断食道場！
ジェイコブ ……おう。
間借 いや……なにやっとなすか。
ジェイコブ いや、だって、
間借 だって、
ジェイコブ ちよつと小腹がすいちゃって。
間借 ……断食道場！
ジェイコブ やーでもほら、人間食べないと。
間借 はあ！？
ジェイコブ 食べないとだめよー。
間借 ……頭、大丈夫ですか。
ジェイコブ あ？ もう痛くない。
間借 ……（十色に）あの、僕、男子部屋に戻るね。ちよつと、我慢できないから。
十色 あたしもちよつともう無理です。
間借 あ、じゃあ一緒にセミナー行く？
十色 それもちよつといいですか。
ジェイコブ あ？
間借 え？
十色 それ。
間借 いやいやちよつと
ジェイコブ いいよ。
十色 すいません。

十色、両手でお碗を作り、そこにジェイコブ、ぎらっと入れる。
十色、一気にはおぼる。

間借

ええー

十色、ぼろぼろこぼしながら食う。おせるなど。
ケモノのように見えなくもない。

ジェイコブ

ねえちゃん。それが自由だよ。

十色

(もぐもぐさせながら大きくうなづく。)

間借

いや……これ意味ないでしょ。

ジェイコブ

間借君は。

間借

いませんよ。

ジェイコブ

そう。

間借

いやちょっと……これはひどい。ちょっといくらなんでも。ありえない。

ジェイコブ

なにがありえないのよ。

間借

ここは、断食道場。

ジェイコブ

断食だろうがなんだろうが腹は減るでしょうがよ。

間借

……なにを……は？

ジェイコブ

なんか食べたいと思ってなんか食べる。

間借

はあ。

ジェイコブ

なにもありえなくないでしょう。

間借

……ねえ、十色さん。まずいですって。

十色

……

間借

仕事なんだから。

十色

先程はすみませんでした。

間借

え？

十色

空腹のイライラをぶつけてしまっ

間借

て……

ジェイコブ

(ジェイコブに)もうちょっといいですか。

ジェイコブ

おう。

ジェイコブと十色、仲良く食べ始める。

一人残される間借。

ジェイコブ

食べない？

間借

いや、

十色

もうめちゃうちゃ美味しいですよ。

間借

あの僕は、断食しに来てるんで。

十色

はーい。

間借

……したくて、してるから。

二人の咀嚼音が響く。

間借

あの、もうちょっと、付き合いきれないんで、

間借、部屋を出ようとする。

十色

あ、間借さん。

間借

……はい。

十色、カバンから菓子パンを取り出す。

十色、菓子パンを袋から取り出し、半分に割る。

十色

どうぞ。

間借

は？

十色

パンです。

間借

パンだよ。

十色

……

間借

……

長い逡巡の末、間借、思わず菓子パンを食べてしまう。

間借

……めっちゃくっちゃ美味しい。

ジェイコブ

それが自由だよ。

間借

うるせえよ。

そういいながら、間借、ジェイコブのお菓子も食べだす。

三人で仲良くお菓子を食べている。

十色

回復食楽しみだなー。

終わり。